教育講演

7月2日（木） 13:15～14:30

大阪公立大学 阿倍野キャンパス
C棟10階 1002

急性期病院から地域・在宅につなぐ緩和ケアの高度実践看護と教育的課題

演者 ルイス 智子

Palliative Care Directorate,
Lancashire Teaching Hospitals
NHS Foundation Trust,
United Kingdom

目的

本講演では、急性期病院における治療期から地域・在宅療養への移行支援に焦点を当て、緩和ケアにおける高度実践看護の役割について学ぶ。

緩和ケアに必要な症状マネジメント、ACP（Advance Care Planning）支援、倫理的意思決定支援、多職種連携、地域包括ケアに関する知識・技術・態度を統合的に学習する方法のヒントを得て、患者・家族中心の緩和ケアを実践できる教育的課題を探る。

専門看護師更新ポイントのための証明書は事前申し込み必要

事前申込

本教育講演は、2026年度外国人研究者招へい助成事業により開催のため参加費無料